

令和5年度 第3回 鯖江市総合戦略推進会議 議事要約

<開催概要>

- ・ 日 時：令和5年12月1日（金）午前10時00分～午後12時00分まで
- ・ 会 場：鯖江市役所 4階 多目的ホール

・ 議事

1. 開会
2. 議事
 - (1) (仮称) 鯖江市将来ビジョン案について
 - (2) その他
3. 閉会

・ 配布資料：

- 資料1 (仮称) 鯖江市将来ビジョン案

1. 開会

2. 議事

(1) (仮称) 鯖江市将来ビジョン案について

委員	<p>それでは、第3回鯖江市総合戦略推進会議を開催する。委員の皆様にはご多忙のところ出席いただきありがとうございます。本会議は2時間程度を予定しており、円滑な進行に協力をお願いします。</p> <p>会議次第にしたがって進めたい。まず、(1)の(仮称)鯖江市将来ビジョン案について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p><資料説明> 資料1 (Iはじめに、II2040年の展望)を説明</p>
委員	<p>今、説明があった「Iはじめに」と、「II2040年の展望」について、意見があればお願いしたい。</p>
委員	<p>「Do SABAE」というのは、鯖江をやれと言われていた気がする。行動しようという風には読めないのではないかと。行動しようという想いと「Do SABAE」が直結していない気がする。</p> <p>他にどんな案があったのか。</p>
委員	<p>和製英語であり、やれといわれている風にとれなくもない。資料を見た時に私もそのように感じた。「do」というのは、make、think、playとかいろんな意味があるオールマイティな言葉であるとのことであるが、このように使用するのが良いのか、もっと鯖江に合った言い方があるのではないかと。英語を使うのはインパクトがあるからということであったが、もっとインパクトのある言い回しを皆さんと一緒に考えていきたい。</p>
事務局 (22:09)	<p>事務局の思いとしては、行動しようということと、make、think、play、いろんな意味もあって、言葉のイメージ、前に進むということができる限り短い言葉で、どの自治体にもないような表現でという想いもあり、「do」という言葉を選んだ。検討の過程では様々な意見があり、「Do IT」等もあったが、インパクトがあり、分かり易く、これまでの鯖江の文化をこれからも継承して行こうということで「DO SABAE」を提案させて頂いた。いろいろと意見はあると思うが、和製英語であるということも事務局では捉えており、英語の表記については皆さんの意見も聞きながら、より適切な言葉があれば見直しも必要と思っているが、今の段階では、出来ればこの言葉でいきたいと思っている。</p>
委員	<p>先ほどの説明を聞いて、「do」ではない言葉を使うとしたら、個人的に良いと思ったのは、様々な行動を起こすということで action、市民が主役になるということで actor 等、そのまま使うのは難しいかもしれないが、「act」という言葉も、鯖江らしいと思う。もう少しブラッシュアップして違う表現もできると思う。「do」の</p>

	持つ意味は素晴らしいとは思いますが。
委員	私は海外によく行くが、「do」の意味はやはり命令形になるのという意味合いが強い。例えば、「Let's act SABAE」など、少しやさしい言い方のほうが市民に受け入れられると思う。「行動しよう、鯖江」ということで、私も「act」は素晴らしいと思う。
委員	P8の「鯖江市では」のところに、IoT になっているところがあるので IoT に修正をお願いしたい。 それと、これは誰向けか。市民向けなのか。
事務局 (26:30)	文字については修正する。誰に向けたものかについては、市民と共有するものと考えている。
委員	横文字が多い。これをわかる人どれくらいいるのかと思う。例えば、バリューズ、well-being、ターゲットプレイヤーとか、いちいち横文字が多く、一般市民がみてアレルギーを起こさないか心配である。
事務局	横文字が目立っているのは確かである。日本語に置き換えることが可能なところは置き換えも検討するが、全体として、このビジョンの質感、色を高める手法として英語を使っているところもある。市民と共に歩んでいくものにして行きたいという思いもあり、事務局の方でも変えるところは変えるが、対応は事務局に任せていただきたいと思う。
委員	誰に対してなのかを考える必要がある。内容の細かい部分は MaaS とか、英語でも良いと思うが、誰もが見るところについてはちゃんと伝わる言葉にした方が良いと思う。
事務局 (28:55)	ありがとうございます。
委員	「ブロックチェーンなどのWeb3 が広がっている」というのは根拠があいまいであり、書いてほしくない。「ブロックチェーンなどのWeb3 を活用します」と、明確に書いているが、個人的には今のところ使い物にはならないと思っており、やめていただきたいと思う。
事務局 (29:44)	これは、2040 年にはこうなっているだろうという想定であり、表現の仕方については相談させていただきたい。
委員	P8 に、「AI やブロックチェーンなどのWeb3 の技術を使い、市民サービス向上に役立っています。」とあるが、今、実際にWeb3 使っているのか？
事務局 (30:19)	鯖江市ではまだWeb3 等は使っていない。
委員	使っていないのであれば、「市民サービス向上に役立っています」とあるが、違うのではないか。
事務局 (30:45)	予測される社会の変化ということであり、2040 年にはそうなっているという想定で書いている。現状はできていない。
委員	P8 の前段階は現状を言うところではないのか。
事務局	緑色で網掛けしていない部分は、日本が今後進んでいくであろう視点で書いてい

(32:07)	る。その全国的な動きをうけて、5項目毎に、鯖江市の将来の姿を緑の網掛けの部分に記載している。
委員	理解できたが、鯖江市としてこう予想しているということであるならば、それに対する根拠をしっかりと書いていただきたい。未来のことはどうなるかわからない。ブロックチェーンは失速気味であり、流行ってほしくない。こういう未来になるという前提が、合意しかねる。
事務局 (33:52)	これは事務局が考えた将来の姿であり、ブロックチェーン、Web3が今後一般化しないという予測であれば、エビデンスがあるわけではないので、意見に基づいて見直していきたい。
委員	<p>いろんなところで、エビデンスベースでやろうということは国も言っている。予測不可能なことに対しては分からないので、それを前提にどう対応するかを決めるという形にする必要があり、決まった未来をベースに決めてしまうと、それがなかった時にはすべてが崩れてしまって危険である。</p> <p>それと、Maasの最後の文字が小文字になっているが大文字のMaaSが正しい。また、Web3についても、消していただくのが一番であるが、それはできないまでも、表記にズレがあるといい加減な計画内容と捉えられてしまうので気を付けていただきたい。また、α世代(ジェネレーションアルファ)等、あまり使われていない言葉は極力入れない方が良く思う。</p>
事務局 (35:43)	将来を見通した時に、デジタル化は欠かせず、技術革新等によって、生活の変容につながることは極力入れて行こうということで記載している。委員がおっしゃったことについては整理し、用語の表現も見直す等対応していきたい。
委員	私は農業をしているが、P8のところに、「スマート農業が本格化し自動運転のトラクターなどが活躍する」とあるが、私は無理だと思う。鯖江市の10年後に農業をする人がどれくらいいるのかと考えてもらいたい。今70歳代の方が2040年になったら、皆いないのではないか。そういうことの方が大切なのでないか。スマート農業という言葉よりも、農業を維持していく、農業を守っていくための2040年の言葉にすべきではないか。
事務局 (37:53)	スマート農業について書いている。大規模就農の方については「スマート農業が本格化し自動運転のトラクターなどが活躍する」が、一方で、小規模農業については「小規模耕作地の離農が進まないよう後継者育成を進めています」という未来を書いている。大規模就農の方にも同じような傾向が出てくるのであれば、表現を訂正させていただきたいと思う。
委員	見方としては、資料の中の、緑の枠に入っているのは鯖江市が想定している未来の話だと思う。委員がおっしゃったように、エビデンスに基づくものでないともならないと思うが、これは予測であって、こうなってほしいという姿ではないということなのか。ビジョンを描く際の立場として、世の中がこうなっているのかもしれないのでこのような計画をするということなのか、それとも、こうなって欲しいからこうやって行こう、ということなのか、どういう目線で記載しているのか。
事務局 (39:49)	ここは、P7の最上段に書いてあるが、「予測される社会の変化」をもとに、鯖江市としてこうなってほしいというものを記載しているのではなく、鯖江市にとって起

	<p>こる可能性のある変化を記載している。それが、次のビジョンの中で出てくるとい う形で記載している。</p>
委員	<p>ボリューミーになるかもしれないが、いきなり 2040 年のことがくると、本当にそ うなのかと市民は思う。2030 年にはこうなり、2040 年にはこうなると、タイムライ ンが出てくると分かり易くなるのではないかと思う。</p> <p>それと、P7 にある「深刻な労働力不足の中で、女性や高齢者、外国人が貴重な労 働力となっています」という表現が気になる。女性、高齢者、外国人は労働力としか 見られていないような、裏を返せばこれまでは男性が労働力になっていたと言っ ているように感じて、表現的にもっと良いものにならないかと思った。</p>
事務局 (42:00)	<p>文章の中身について、人によって捉え方は様々であり、このような議論、意見を踏 まえてさらに精度を高めていきたい。それと、ビジョンの中で唐突に出てくる印象 があるものについては、前段に説明を入れるなど、誤解が起きないようにワンクッ ションを入れて、見る人にわかりやすい構成にしたい。</p>
委員	<p>鯖江市ではということ緑の部分があるが、ここを例えば「福井市」としても当て はまるのではないかと思う。鯖江市らしさがなく、2040 年にしても感じ取れない、 他市でも当てはまる文章になっている。市民に届けたとしても、自分のまちとして、 素直に入っていけるビジョンになっていないのではないか。ここに、鯖江らしさが 入ってくると、受け止め方が変わってくるのではないか。</p>
事務局 (45:14)	<p>事務局としても工夫してきたが、どこの自治体にも当てはまる内容もあると思う。 その中でも鯖江らしい視点を工夫して、読み手にわかりやすく、腑に落ちやすい表 現を工夫していきたいと思う。</p>
委員	<p>今の会話があってようやくわかったが、一つ一つに、「予測される 2040 年の鯖江 市の姿」等の表記を入れておいた方が良い。</p>
事務局 (46:53)	<p>元々は「予測される社会の変化」と入れてあったが、検討の中でなくなった。その ように表記して行きたい。</p>
委員	<p>P8 に、「眼鏡、繊維、漆器に代表される本市のものづくり産業は、世界中の地域と 直接繋がり、鯖江ブランドの価値が高まっています」とある。商工会議所として、12 月 1 日から、「MADE FROM」というバーチャルコーナーを立ち上げているが、これは 世界中の産地と繋がることはもちろんであるが、一番大事なのは、鯖江の産業は、眼 鏡、繊維、漆器だけではないということで、「眼鏡、繊維、漆器に代表される本市の<u>様々</u> <u>なものづくり産業は…</u>」として、2040 年にはまだ世界中の地域と直接繋がってはい ないと思われるが、既に、眼鏡、繊維、漆器は様々な産業と連携しており、地域とい うよりも、様々な産業とつながって、様々な産業を起こし、そこから鯖江ブランドが 立ち上がって来るといった表現にする方が夢として広がると思う。</p>
事務局 (49:01)	<p>ありがとうございます。参考にさせていただきます。</p>
委員	<p>P9 の一番下に、「仕事よりも趣味などの自分の時間を大切にしている若者が多く なっています」とあるが、わざわざ「仕事よりも」という言葉を付ける必要があるの か。それが若者、次世代の意識や常識になっているというのは非常に怖い。仕事も趣 味も自分の時間として大切にしたいので、表現を見直してほしい。</p>

事務局 (49:56)	良い意見をありがとうございます。訂正する。
委員	根拠が欲しいと思う。中高生のアンケートを実施しているが、中高生が将来鯖江を出ていくということは予測可能な未来である。そこを現実として織り込んだうえで、どうするかを記述してほしい。今の資料を見ても、中学生、高校生に言及している部分はない。せっかくとったアンケートは、今後、どのように反映されるのか。
事務局 (51:47)	社会の変化について5つの切り口で尋ねているが、α世代に焦点を当てて、変化がどうかという視点で書いている。エビデンスをとるために、予測される変化というところではアンケートをとっているが、社会の変化の中にもエビデンスが必要だとすると、そのあたりの視点をしっかりと入れていく必要があり、今後の課題にしていきたい。
委員	将来ビジョンをつくるためにアンケートをしているのであり、中高生が、自分の意見はどこにあるのかという視点で見るという所は、ぜひ入れて欲しい。中高生がこれを見て、鯖江に帰ってきてくれるような文章にしていきたいと思う。
委員	全体を見て、人口のところには働く女性という言葉があるが、鯖江市は子育てに力を入れているという割には、子育て関連の視点が抜けているように感じる。残念であり、そのような視点を入れていただきたい。 それと、やはり市民側から見た時、難しい言葉、流行りの言葉は響かない。well-being 等市民の会話の中で使うことはない。ランクを下げるというと語弊があるかもしれないが、中高生を含め市民が読みやすい、分かりやすい文章にしていきたい。
事務局 (55:40)	参考にさせていただく。well-being 等わかりにくい言葉はあるが、国もそういった言葉を使っている。そのような言葉を広めていって、馴染ませるということもある。難しいから使わないというのではなく、理解を深めていくということも必要だと思うので、事務局で考えて行きたい。
委員	最初に言えばよかったが、やはり最初の「Do SABAE」が気になる。「do」というのは完結動詞であり、全てを代表する動詞であって、普通はこのようには使わない。「Let's act SABAE」、「act」には「think」も入るため、その方が柔らかく感じる。「Do SABAE」とすることに私は反対である。
委員	活発な意見をありがとうございます。 私自身も「Do SABAE」には違和感がある。語感なのかもしれないが、「do」というのは古い気がする。将来に向けた理念を表す合言葉としては、あまり未来を想像できない言葉だと思う。英語を使っているが、できれば日本語、大和言葉を使うのはどうかと思う。ご検討いただきたい。 P7以降、つくるのが大変だったと思うが、率直な意見として、世の中の変化をそのまま捉えて、おそらくどの地方都市もそのように目指すであろうところであって、鯖江市としてのオリジナリティが見えないところが寂しい。このようにならないのが得ないのはわかるが、まだこの報告書が完成していないので何とも言えないが、やはり断片的でバラバラな印象を受ける。 また、これを言うと困惑する方もいると思うが、私自身は鯖江市民ではないが、い

	<p>ろいろと鯖江市と関わりを持つ中で、他の市とは違うものを感じている。鯖江の皆さんの熱量のある姿勢に感銘を受けているが、この将来ビジョン自体が鯖江らしくない。書きぶりもそうだし、目指す未来の姿も他の市との違いが見えない。鯖江の方々は、ビジョンを実現するために、熱量をもっていろいろと取り組んでいくと思うが、そのプロセスが見えない。人口、経済が縮小していく中でも、自分たちらしい暮らしぶりをどう実現していくか、これから先の未来のつくり方の部分については鯖江らしさがあるはずであるが、この計画から読み取れないのが寂しい。</p> <p>抽象的になってしまったが、鯖江らしいということを市民がまず感じて、こういう未来に向けてみんなで頑張りたいと思えるような、また、それを見た人が住みたくなるような、そういう書きぶりになれば良いと思う。</p> <p>それでは次に移りたいと思う。「Ⅲ 地域のまちづくりビジョン」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><資料説明> 資料1 (Ⅲ 地域のまちづくりビジョン) を説明</p>
委員	<p>ありがとうございました。今説明があった「Ⅲ 地域のまちづくりビジョン」について、何かあればお願いしたい。</p>
委員	<p>P33 にエリア分けがされており、「日野川西部エリア(立待地区、吉川地区、豊地区)」となっているが、立待地区は日野川西部エリアには石田町しかなく、あとは糺町はじめ全て日野川の東部にある。日野川西部エリアの中の「立待地区」は、「立待地区の一部」とするか、または、1町しかないので、全て東部のエリアにするとか、表現を工夫していただきたい。</p>
事務局 (75:16)	<p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>意見ではなく修正であるが、P36 「サードプレイス」ではなく、「サードプレイス」である。</p>
事務局 (75:45)	<p>ありがとうございます。訂正します。</p>
委員	<p>地区の特性のところ、P13、P14 をもとに話をすると、市民アンケートやタウンミーティングはこれで良いが、地区の魅力や課題については、地区の意見を聞いた上でつくっているのか。これを各地区の人が見た時に、まだこんな課題があるとか、地区のまちづくり活動のこともあると思う。それぞれの地区の想いを踏まえた上でつくっているのか、そうでないなら、時間の制限はあると思うが、意見・想いを聞いた方が良いのではないかと思う。地域のエリア分けについても意見を聞いた方が良いのではないか。</p>
事務局 (77:22)	<p>地区の特性について、地区の魅力についての異論は少なく、なるほどというところがあると思う。一方、課題のところは、人によって様々であり、市としてはデータ等に基づいた交通や空き家の課題等、エビデンスが捉えられるものを記載している。ただ、アンケート、タウンミーティング以外での意見収集の場は設けていない。アンケート、タウンミーティングでの意見を踏まえて作成している。</p>

委員	広く求めなくてもよいが、せめて公民館くらいには聞いてもよいのではと思う。考えてみて欲しい。
事務局	ありがとうございます。
委員	地区毎のビジョン、他の地区のことを見ることがないので、興味深く拝見した。この中で、各地区のまちづくりのキーワードが抽象的に書いてあるが、なぜか豊と河和田だけ具体的な名前が書いてある。それができるのであれば他の地区もそろえた方がよいと思う。
事務局 (80:13)	配慮したい。
委員	私は立待地区であるが、立待地区には福井県唯一の自衛隊がある。これは県、鯖江市の宝であり、立待地区ではなく、どこか鯖江市全体のところに載せていただきたい。市民は知らないと思うが、鯖江のような小さな駐屯地からも、PKO でソマリア沖にも行っているということを知って欲しい。どこかに入れてほしい。
事務局 (81:30)	ありがとうございます。ご意見として伺っておく。
委員	<p>竹部委員がおっしゃったように、地区毎に見やすく良いと思うが、率直に言えば、全体を通して、市民としては見たくない資料であると感じる。その中で、全体的な話は横に置いておいて、地区毎のことについて言えば、委員がおっしゃったように、課題等は地区の方が一番分かっていることであり、思いとしては、小さな子どもも見ることを考えて、住んでいる地区が最初に出て来て、家族と一緒に食卓で見ることができるような作り込みの方が良いと思う。今の資料は、市の各地区を横断的に見るには良いが、地区の問題はこれで、解決策にはこんなものがあり、さあやってくださいと言われていたような気がする。家族と一緒に見るためには、平易な文章が必要であり、特に気になるのはカタカナの言葉、ターゲットプレイヤーとか、そうでない人も沢山いる。家庭に届いて見た時に、例えば数値についても分かりやすくすれば話題になる。学校で教材として使ってもらえるような作り方をしてこそ資料の価値が高まると思うので、取り入れていただきたい。</p> <p>見た時からすごくいやで、もう少し視線を下げてほしい。我々は市の従業員ではない。一定の形を整えないといけないので、やむを得ないところはあると思うが、資料については、家庭や学校で見て、考えてみようかというようになる柔らかいものにしてほしい。特に地区のビジョンについてはそのように思う。</p>
事務局 (84:51)	<p>各地区でまちづくり計画を作って欲しいという思いがあるが、北中山地区ではつくっているが、他の地区はなかなか進んでいかないのが現状である。上から押し付けるものではないが、各地区で魅力や課題は他にも沢山あると思うが、これがまちづくり計画をつくるきっかけになれば良いと思っている。</p> <p>先ほどから言われている、やさしく分かりやすい表現、家族で話題になるような作り方等については、今後検討して行きたいのでよろしく願います。</p>
委員	資料をみて、市民への丸投げではないかという印象を受けた。市民主役のまちづくり、市民が協力して鯖江市を盛り上げて行こうということで、これまでやってき

	<p>たが、5年前、10年前に比べて区長や民生委員の仕事がどんどん増えてきている。行政がすること、市民がすること、仕切り、区分けは難しいかもしれないが、区別をしっかりと進めて行って欲しい。</p>
委員	<p>他にないか。</p>
委員	<p>中身ではなく、デザイン的な指摘であるが、誰に見てもらうかによって見せ方は変わると思うが、見にくい資料となっている。例えば、P29、P30、P31は見るのがつらい配色になっている。ユニバーサルデザイン的なものを取り入れて、目に負担がかからないような配色にしてほしい。また、P35の地図の表記等は、配色が似ているものがあり、区別がつきにくくなっている。見た目、全体的なデザイン性を見直していただければと思う。</p>
事務局 (89:45)	<p>デザインについては指摘の通りである。今回、初稿として出しているが、見やすい、あるいは分かりやすい表現の仕方、市がつくるということでバランスを取りながら配慮していきたい。</p> <p>また、初稿には入れてないが、イラスト、図、絵でわかるような表現、追加の工夫をこれから合わせて進めていきたい。</p>
委員	<p>私は吉川地区であるが、北中山地区にはまちづくり計画があるということだったが、各地区のみなさんは、いろんなことをしている。吉川地区でも策定委員会を立ち上げてやっているところであり、各地区での取り組みを見た時に、表立っていなくても、町内の青年会等活躍している人がいる。昔から継続して活動しているという歴史がある。市民主役ということは良いのだが、既にやっているのに、まだやれというのかと捉えられてしまう。既にやっていることを取り上げると、認められたということで、やる気が出て良いのではないかと思う。</p>
事務局 (92:33)	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>見やすさということと、高校生が県外に出て行く問題について発言したい。</p> <p>情報収集の方法についてアンケート結果を見ると、高校生の半数以上がスマホ、次はパソコンだった。大人も一番はスマホであり、既にこれらの使用は当たり前になっており、紙でまとめること自体が古いのではないかと思う。見たいところをタップして見てもらえるような、見やすい資料のまとめ方にしてはどうかと思う。</p> <p>もう1点、高校生で県外に住みたいと思っている人の割合は地区ごとに差がある。吉川、立待、豊では38.2%と市の平均より低いですが、片上、中河、北中山は58.3%と高くなっており、こういうデータをもとに、何か問題があるということで対応を考えた方が良い。特に、女子の県外志向は強く、片上、中河、北中山では66.7%が県外へ行くと答えている。なぜ地区毎に計画を立てないといけないかという、地区毎にこういうデータがあるということを示して、地区に考えてもらうだけでなく、しっかりと予算もつけるということに合わせてやっていかないと具体的になって行かないと思う。</p> <p>今回の資料に未来像があるが、実現するためにどこにどれだけ力を掛けるのかということが見えないため、真剣さというか、市民にも伝わりにくい要因ではないかと思う。データを基にした資料にしてほしいということと、なかなかきれいにまと</p>

	めるのは難しいが、アップデートできるような、紙ではない形が面白いと思う。
事務局 (96:01)	<p>今回は、今時点で考えられるものを取り入れながら作成している。総合戦略の書き換えのタイミングで、新しい考え方を入れて、アップデートというか見直していくことは考えていきたい。</p> <p>具体的な方策は記載していない。そうした考え方で取り組んで行きたいということまでしか書いていないが、行政の各種実行計画で反映して、進めていけるよう考えていきたい。</p>
委員	地域の資源のところ、瓜生家、王山古墳等が書いてあるが、瓜生家は屋根が落ちており、王山古墳は落ち葉がひどくて登れない。問題があるところで、今なにもしていないものを上げているのは心配である。
事務局 (98:25)	瓜生家は3年かけて改修していく予定である。これからどうなるのか分からないものを載せるのかということであるが、支援と書いてあり、市として何らかの支援をしていく予定であるが、王山古墳については状況を把握していない。
委員	文殊山も頂上から南井の方に降りるところの崖が崩れており、30分で行けるところが2時間かかった。文殊山と書く以上は何か対応が必要であると思う。
事務局 (99:50)	ありがとうございます。
委員	<p>先ほど鯖江らしくないと言ったが、皆さんの意見を聞いていると、誰が誰に向かって書いているのかというところが分かりにくいのだと思う。インナーブランディングというか、市民と一緒にやろうと思う目線で書かないといけないと思う。そうすれば、皆が賛同して、実現に向かって協力していくのではないかなと思う。</p> <p>感想として、P35以降については、デザイン、ブランド、well-being等、キーワードがどのように生かされるのか具体的に書かれていて良いと思う。こういうトーンが全体に出てくると良い。また、特に気になったのは、P33、「…求められます」という表現が数か所出てくるが、市民が何かを要求されているように感じる。皆で行こうというような書き方にしてほしい。P34には「…おそれがあります」とあるが、そういう心配があるのなら次にどうしたらよいのかということが書かれておらず、不安を覚える書き方になっている。まだこの資料は完成品ではないが、気を付けて全体のトーンを整えていただければと思う。</p> <p>他に、意見はないか。</p>
委員	先ほどの続きで申し訳ないが、P41も地区の区分があいまいになっている。つつじバスがこちらに来るということはよく分かるが、立待地区、吉川地区、豊地区はここだということを、きちんと色分けしていただきたい。
委員	他に、意見はないか。
委員	P13の地区の特性のところ、人口のところ、世帯数、高齢者は書いてあるが、外国人の住民の数なども記載してはどうか。
事務局 (104:04)	地区ごとに記載するということですね。
委員	自分の地区には書いてないので、地区ごとにあると嬉しいと思う。

事務局 (104:22)	ありがとうございます。
委員	吉川ナスが載っているが、吉川ナスの料理が食べられる店などを書いてはどうかと思う。道の駅には吉川ナスを使ったハンバーガーがあるが、ナスを載せるだけではなく、どこで食べられるか等、市民は分かっていないのではないかと思う。
事務局 (105:48)	吉川ナスは地区の魅力として記載している。食べられるところを魅力に記載するのは難しいかもしれないが、吉川ナスは大事な宝であり、他に載せられる場所があれば掲載したい。
委員	活発にご意見が出た。大変だと思うがとりまとめをよろしくお願ひしたい。それでは進行を事務局にお返ししたい。
事務局	参考になるご意見、ありがとうございます。しっかり整理してよいものをつくらせていただきたい。

(2) その他

事務局 (107:33)	次回、第4回は1月26日、15時から、市役所別館4階、全員協議会室で開催を予定している。総合戦略と将来ビジョンの素案を示させていただいた上で、その後、パブリックコメントを進めていきたい。開催通知は改めて送付させていただく。公私ともにお忙しいところ恐縮ではありますが、ご出席をお願いしたい。
事務局 (108:37)	(事務連絡)

3. 閉会

事務局	以上をもって、第3回鯖江市総合戦略推進会議を閉会とする。ありがとうございました。
-----	--

(以 上)